

スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校の取組み概要

学校名	校長名	各学校の問合せ先
県立		
大垣北高等学校	高橋 利行	教諭 桐山 明宏（電話番号0584-81-2244）
<p>【事業名】清流の国ぎふ アジアを学び世界をつなぐ1600人のリーダー育成</p> <p>○ 全生徒1,600人を対象。生徒一人一人が成長著しい東南アジア・東アジア諸国における社会・ビジネスの課題を題材とした研究を進め、英語での論文作成・発表を通して、グローバルリーダーの育成を図る。</p> <p>○ 専門的な知見を有する大学やアジア諸国に事業展開する大垣市内の企業等と連携を図り、カンボジア・ベトナムでの海外フィールドワークとインターンシップを効果的に実施する。 ・大学：東京大学大学院教育学研究科、名古屋大学大学院国際開発研究科、岐阜大学大学院工学研究科、名古屋外国語大学 ・企業：イビデン株式会社、大垣共立銀行、サンメッセ株式会社、セイノーホールディングス株式会社、太平洋工業株式会社、矢橋ホールディングス株式会社</p> <p>○ 各教科の言語活動の充実や、英語の授業と課題研究との効果的な連携を図るとともに、課題研究の基盤となる論理的思考力・表現力を身に付ける言語技術指導を導入する。</p>		
関高等学校	加藤 昭二	教頭 佐藤 秀樹（電話番号0575-22-5688）
<p>【事業名】清流の国ぎふ・関から 鍛冶の魂を継承し、未来を切り拓くグローバルビジョン</p> <p>○ 全生徒（特に第1学年280名を核にする）を対象。野村総合研究所研究員、富士通総研研究員、大学教授等を取組みのアドバイザーとして設置、国際的素養を身に付けたグローバル・リーダーとして活躍できる生徒を育成する。</p> <p>○ グローバルなフィールドで活躍する大学・企業や地域と連携した系統的・段階的な「SGH・課題解決型キャリア研究」を実施する。例えば、秋には関市の地場産業である刃物を世界に広めている関刃物産業連合会の海外広報に随行（予定）するなど海外フィールドワークを効果的に実施する。 ・大学：北海道大学、大阪大学、京都大学大学院、名古屋大学、愛知県立大学、南山大学、名城大学など ・企業等：関市刃物産業連合会など</p> <p>○ 「SGH・課題解決型キャリア研究」の実施に当たっては、議論やプレゼンテーション、英語力の伸長を図る取組みを効果的に実施し、言語活用能力やコミュニケーション能力を育成する。</p>		
私立		
岐阜聖徳学園高等学校	林 俊彦	教諭 宮川 純一（電話番号058-271-5451）
<p>【事業名】”Co-Work”よき地球市民として、未来の社会づくりに立ち向かえ！ 「災害時、私は何ができるのか。共に何ができるのか。」</p> <p>○ 1年生の「特進クラス」31名を対象。災害時の対応をテーマにフィリピンの高校生と協働行動を展開し、地域社会に貢献できるグローバル人材、グローバルリーダーの育成を目指す。</p> <p>○ 災害時に人々がどう立ち向かったのか、大規模災害を経験した岐阜県とフィリピンの歴史から学ぶ。 ・岐阜県：「長良川水害(9.12豪雨災害)」(昭和51年) ・フィリピン：「台風30号災害」(平成25年)</p> <p>○ フィリピンの生徒等との協働研究、協働作業の中で、人類の回復力を企画発案し行動するファシリテート(促進)する力を養う。</p> <p>○ 英語やフィリピンの現地語を使い協働作業する中で、グローバル人材に必要なコミュニケーション力を養う。</p>		
高山西高等学校	下屋 浩実	副校長 小林 隆徳（電話番号0577-32-2590）
<p>【事業名】飛騨から世界へ、世界から飛騨へ</p> <p>○ 1年生106名を対象。国際観光都市である飛騨高山を世界に発信し、海外から飛騨への観光客増を目指す活動に取り組むことを切り口とし、グローバル人材の育成を図る。</p> <p>○ 「特進Ⅰクラス」では、フィールドワーク、論文作成、英語ディベートに取り組み、自ら学ぶ意欲、課題解決能力を持ち、海外への発信力のある生徒を育成する。将来、国際的に活躍できるようなグローバルリーダーを目指す。</p> <p>○ 「蛍雪クラス」では、本校独自で開発した「飛騨英検」を実施、市や村と連携したワークショップを通じて、地域に根差したグローバル人材を育成する。 将来、現場で外国人対応や、外国人観光客への通訳ガイドができるようなグローバルシチズン(市民)を目指す。</p>		